

指揮 佐々木新平

ヴァイオリン 鈴木 舞

令和5年

6月3日(土)

開場 17:00

開演 18:00

静岡市民文化会館大ホール

チケット

全席自由 1,500円

前売り発売開始予定 令和5年4月15日(土)

チケット
取り扱い

すみやゲッディ静岡本店 ☎ 054-253-6222
蔦屋書店 静岡本店プレイガイド ☎ 054-274-2666
音楽舎 ☎ 054-265-2930
もちづき楽器 清水巴町本店 ☎ 054-353-2314
静岡草薙店 ☎ 054-368-6211
e+イープラス [PC/スマホ] <https://eplus.jp>
[直接購入]ファミリーマート



お問合せ

静岡フィル事務局 ☎054-270-3151

ホームページより <http://shizphil.net>

静岡フィル

検索

演奏曲目

塩見康史作曲 シンフォニエッタ「ミレニアム・プレリュード」
Y. Shiomori : Sinfonietta "Millennium Prelude"

チャイコフスキー作曲 ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
P. Tchaikovsky : Violin Concerto in D major Op.35

シベリウス作曲 交響曲第1番ホ短調 作品39
J. Sibelius : Symphony No.1 in E minor Op.39

第46回定期演奏会

静岡フィルハーモニー管弦楽団

第21回静岡市民文化祭

主催／静岡市

企画・運営／静岡市文化協会

主管／静岡市民オーケストラ連盟(静岡フィルハーモニー管弦楽団)

後援／静岡新聞社・静岡放送

特定非営利活動法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団後援会

協力／公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

静岡県内の中高生を100名無料でご招待いたします(事前申込みが必要です)
申込み方法や詳細は静岡フィルホームページをご確認ください

■コロナ感染症対策にご協力をお願いします



©S.Arita

〔指揮〕 佐々木新平 Conductor *Shimpei Sasaki*

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選拔され、J.バヌラ、H.アンドレシュク、M.ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。

これまで国内の主要楽団に客演。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、広島交響楽団、東京混声合唱団、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ等と共演を重ねる。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては2010年より指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏をはじめとする指揮者のもとで活動。その後2019年まで同楽団アソシエイト・コンダクターを歴任した。

2021年1月にはヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任し、吹奏楽の新たな境地を切り開く俊英としても期待が寄せられている。また秋田から羽ばたく芸術家の一人として、2022年6月に県の芸術文化の拠点として新たに誕生した「あきた芸術劇場ミルハス」の音楽部門アドバイザーに就任。今後、地域の様々な芸術文化を内外へ発信する重責を担う。

現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。その活躍の様子はNHK-Eテレ「クラシック音楽館」、NHK-BSプレミアム公開収録コンサート、テレビ朝日「題名のない音楽会」、BSフジ「辻井伸行in富士山河口湖ピアノフェスティバル」、岩手朝日テレビ「Road to Higher Next」等で放送された。また大規模なイベントを指揮者として統率し、大スクリーンでの映画上映とオーケストラの生演奏で贈る「シネマ・オーケストラ」(キョードー東京主催)では「ジュラシックパークinコンサート」等の公演を成功へ導いた。その他、オーケストラによる多彩なCDレコーディングや映像収録、公式イベントでの指揮、さらに映画「マエストロ!」や「海賊とよばれた男」等名作における出演者への指揮指導および劇中音楽のスタジオ収録指揮を務めるなど、多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遙かなる高みに向かう若き指揮者。

<https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>



©Yukiko Shibuya

〔ヴァイオリン〕 鈴木 舞 Violin *Mai Suzuki*

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。ローザンヌ、ザルツブルグ、ミュンヘンでビエール・アモイヤル、インゴル・トゥルバン各師に師事し、ディプロマ、ドイツ国家演奏家資格を取得。在学中より国内外でリサイタルやコンサートに出演し、これまでにニコラス・ミルトン、ヨルマ・バヌラ、イヴァン・レブシッチ、フィリップ・ベラン、小林研一郎、円光寺雅彦、飯森範親、金聖響らの指揮で、読売日響、東響、日本フィル、東京シティフィル、山形響、日本センチュリー響、名古屋フィル、広島交響楽団、神奈川フィル、スイス・ローザンヌ室内管、フィンランド・クオピオ響、チェコ・モラヴィアフィル、ドイツ・ホーフ響、クロアチア放送響、ザグレブ・ポリステン等と共演。

2005年大阪国際音楽コンクールグランプリ、2006年、高校二年生で日本音楽コンクール第2位、翌2007年チャイコフスキー国際コンクール(ロシア)最年少セミファイナリスト、2011年アンリ・マルトール国際コンクール(ドイツ)ファイナリスト、2013年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クロアチア)優勝、オーケストラ賞。オルフェウス室内楽コンクール(スイス)優勝。2016年スビヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア)第2位。2018年コープ・ミュージックアワード室内楽コンクール(イタリア)第2位。

2012年、宮内庁主催皇居桃華楽堂での御前演奏会に出演。将来を嘱望される新世代のヴァイオリニストとして、2012年度シャネル・ピグマリオン・デイズ・アーティストに選ばれた。2012-13年度文化庁芸術家在外派遣研修員、2015-16年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。2017-19年度メニューイン・ライブミュージック・ナウ(ドイツ)奨学生。東京交響楽団と録音したベートーヴェン・ヴァイオリン協奏曲〜第3楽章、マスネ・タイスの瞑想曲が日経ミュージックセレクションCD「モーニング・イン・クラシックス」に収録された。2017年にキングレコードよりデビューアルバム「Mai favorite」をリリース。2020年「ルドン、ロートレック展」(三菱一号館美術館)のオーディオガイド、並びにタイアップCDに演奏が使用された。邦楽や日本の文化とのコラボレーションにも意欲的に取り組み、日本舞踊の五耀會、尾上流の尾上菊保氏との共演の他、胡弓奏者の高橋翠秋、箏奏者の米川敏子各氏とのアンサンブルも好評を得ている。近年は、日本演奏家コンクール等、コンクールの審査員も務める。

使用楽器は1683年製のニコロ・アマティ。

<https://maiviolin.com>



NPO法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団

Shizuoka Philharmonic Orchestra

静岡フィルハーモニー管弦楽団は1977年9月に静岡市を中心とするアマチュア音楽愛好家によって創立。定期演奏会を中心に年間5回程度の演奏会を行い、これまでの公演回数は190回を超える。この間、海外交流文化親善使節として、1986年の中国公演(北京、杭州)を皮切りに、1989年アメリカ(オマハ、ボストン)、1992年フランス(カンヌ)・オーストリー(ウィーン)、2001年イギリス(バーミンガム、ロンドン)、2007年イギリス(コベントリー、ロンドン)、2012

年中国(杭州)で公演し好評を博した。また、2015年には静岡市・オマハ市の姉妹都市提携50周年記念事業のメインイベントとしてアメリカ・オマハ市で現地のプロオーケストラ、オマハ・シンフォニーとジョイントコンサートを開催し高い評価を得た。創立以来、国内外で活躍する著名な指揮者やソリストと共演を重ね、常に質の高い音楽づくりを目指してきた一方、地域の合唱団、バレエ団等との本格的なオペラ公演、バレエ公演も数多く行ってきた。また、テーマを定めた特別演奏会や室内楽コンサートも開催しているほか、地域貢献活動として様々な施設に音楽を届ける「音楽の花束」事業も積極的に展開している。1987年度静岡県文化奨励賞受賞。団員数95人。